

ICANN57開催後 のポリシーレポ ート



ICANN|57
HYDERABAD

目次

03 デイヴィッド・オリーブの挨拶

支持組織/諮問委員会の最新情報

04 アドレス支持組織 (ASO)

05 国コードドメイン名支持組織 (ccNSO)

06 分野別トップレベルドメイン名支持組織 (GNSO)

07 At-Large/At-Large諮問委員会 (ALAC)

08 政府諮問委員会 (GAC)

09 ルートサーバシステム諮問委員会 (RSSAC)

10 セキュリティと安定性に関する諮問委員会 (SSAC)

ICANN57の成功



ICANN57にご参加いただき、ありがとうございます。7日間の会議期間中に実施されたコミュニティ間およびコミュニティ内の多くの作業および着実なアウトリーチおよび能力育成活動を通して、全世界から集まった3,100名を超える参加者にICANNの最善の取り組みを示すことができたことと思います。

このICANN57開催後のポリシーレポートは、支持組織および諮問委員会の最新情報について紹介します。ICANNコミュニティは、グローバルインターネットの安全性、安定性、および回復力を確実なものとするためのポリシーの策定と改善を推進しており、ICANN組織はその取り組みを誇りとしています。実施された205のセッションは、コミュニティのポリシーおよび助言の策定を目指すものです。

ICANN57では、IANAの監督権限の移管を主導して成功に貢献した12名のコミュニティリーダーにICANNリーダーシップ賞が贈られました。また、任期を終了する36名のコミュニティリーダーを表彰しました。コミュニティ全体およびメンバー個人の尽力に感謝し、提供されたスキルと費やされた時間の価値を尊重したいと思います。ICANNコミュニティは、ICANNの中心的取り組みを推進すべくワーキンググループの活動に多くの時間を割いています。

ICANNは、コミュニティ主導の会議戦略ワーキンググループの勧告に沿ってこの年次総会を引き続き評価し改善していきます。コミュニティメンバーからのフィードバックは重要です。調査が実施される際には、ぜひご参加ください。

ありがとうございます。

デイヴィッド・オリーブ
ポリシー策定サポート
担当上級副理事長
ICANNイスタンブール地域
本部統括マネージャ

アドレス支持組織 (ASO)

ICANN57の内容

ASOはRIR会議およびメーリングリストで地域的なポリシー策定作業を進めていますが、ICANN57でも役割を果たしました。インターネット番号コミュニティは、継続的にICANNとの連携を強化し、**開会式**および**最初のパブリックフォーラムセッション**では高次の最新情報を提供しました。

現在は終了したIANA命名機能契約は、IANAナンバリングサービスの報告と履行に関する要件を定義していました。IANA命名機能契約の終了を受け、インターネット番号コミュニティは、ICANNと5つの地域インターネットレジストリ (RIR) の間における**サービスレベル合意 (SLA)** を策定し、これに基づいてICANNが引き続きIANAナンバリングサービスを履行するよう提案しました。ICANNとRIRが2016年6月に締結したSLAは、2016年10月1日に発効しました。

さらに、SLAの履行を監視するため、インターネット番号コミュニティは、ICANNのSLA履行状況の定期的審査においてNumber Resource Organization (NRO) の執行委員会に対して提言を行うIANAナンバリングサービス審査委員会の結成を勧告しました。IANAの監督権限の移管後、**IANAナンバリングサービス審査委員会**が結成されました。

次のステップ

ASOは、ICANNとNumber Resource Organization (NRO) 間の**覚書** (MoU) により2003年に結成され、インターネット番号コミュニティおよび5つの自律的なRIRであるAfrican Network Information Centre (AFRINIC)、Asia Pacific Network Information Centre (APNIC)、American Registry for Internet Numbers (ARIN)、Latin American and Caribbean Internet Addresses Registry (LACNIC)、およびRéseaux IP Européens Network Coordination Centre (RIPE NCC) を代表します。

NRO Number Councilは、MoUによりICANNで**ASOアドレス評議会**として活動します。ASOアドレス評議会は、インターネット番号コミュニティのポリシー策定作業を調整し、またICANN理事会、指名委員会、およびその他のICANNグループにメンバーを任命します。

ASOアドレス評議会は、各地域から3名ずつ、合計15名のメンバーで構成されます。2017年1月1日に任期を開始する新メンバー3名は、オモ・オアイヤ氏 (AFRINIC)、ブラジェシュ・ジャイン氏 (APNIC)、ケヴィン・ブランバーク氏 (ARIN) です。

さらにMoUは、NROが定期的な審査を行うための独自のメカニズムを提供するよう定めています。来年開始される予定のASOの審査に関する提案依頼書は、近日中に公開されます。NROは今後、受理した申請を審査し、このプロセスを通じて必要に応じてICANNとの調整を行います。

次回のRIR会議は、次のように予定されています。

- **AFRINIC 25** | ポートルイス (モーリシャス) | 2016年11月25～30日
- **APNIC 44** | ホーチミン市 (ベトナム) | 2017年2月20日～3月2日
- **ARIN 39** | ニューオーリンズ (米国) | 2017年4月2～5日
- **RIPE 74** | ブダペスト (ハンガリー) | 2017年5月8～12日
- **LACNIC 27** | ブラジル | 2017年5月22～26日

セッション資料

ASO/NRO最新情報のセッションは、11月5日 (土) 11:00～12:15に実施されました。このセッションは、ASOアドレス評議会、NRO、およびRIRを含むインターネット番号コミュニティからの広範なポリシー策定および運用に関する最新情報を提供しました。

国コードドメイン名支持組織 (ccNSO)

ICANN57の内容

3つのccNSOワーキンググループ（[戦略的運用計画ワーキンググループ](#)、[ガイドラインレビュー委員会](#)、[ccTLDの安全性および安定性に関する運用常設委員会](#)）は、11月4日（金）に会合を開きました。11月5日（土）にはTech Dayが開催されました。これは、すべてのccTLDコミュニティメンバー、およびレジストリ業務やセキュリティを含む技術的運用トピックに関心のあるその他のメンバーを対象に開かれたワークショップです。11月6日（日）および7日（月）に開催された[ccNSOメンバーミーティングデー](#)は、ccTLDコミュニティがさまざまなトピックについて討議し、情報を得る機会となりました。実施されたすべてのccNSOセッションの概要は、[こちら](#)をご覧ください。

ccNSO評議会は、11月7日（月）に会合を開きました。議題およびすべての関連文書については、[ccNSO評議会ワークスペース](#)をご覧ください。ccNSO評議会およびICANN理事会議席11の候補者が指名され、またベッキー・バー氏（[インタビューのビデオ](#)）が退いた後の空席を埋めるための北米地域の特別選挙が開始されました。

次のステップ

最終レポート：第2文字列の類似性に関するレビュープロセスについて提案されたガイドライン

2015年6月、ICANN理事会は、ccNSOが政府諮問委員会（GAC）およびセキュリティと安定性に関する諮問委員会（SSAC）との協議のうえ、「分かれた判断」に対応するためのガイダンスを提供することを要求しました。2015年10月、ccNSOはccTLDコミュニティとGACからの参加者から成るワーキンググループを結成しました。[拡張プロセス類似性評価パネル（EPSRP）ワーキンググループ](#)は、提案したガイドラインに対して[パブリックコメントの手続き](#)によるフィードバックを求めました。EPSRPワーキンググループは[レポートを最終決定](#)し、ccNSO評議会の採用のために提出しました。しかし、当評議会はSSACが検討をさらに重ねるように求めました。その他の決定はccNSO評議会の次回会合まで延期されました。

進捗レポート：国および地域名のTLDとしての使用のフレームワークに関するコミュニティ横断ワーキンググループ（CWG-UCTN）

[CWG-UCTN](#)は、2文字のコード（ASCII）をccTLD用に予約（ISO規格）したまま残すべきであると決定しました。3文字のコードに対するコミュニティのフィードバックを検討した後、ICANN55の開催中および開催後に提案について討議され、ICANN56で広範なコミュニティ横断セッションが行われました。CWG-UCTNは、パブリックコメント向けに、現時点での総意、課題、調和をとったフレームワークの作成が現実的ではないとするグループの見解を含む暫定報告書を作成中です。CWG-UCTNは、[ICANN57の会合](#)では主に暫定報告書に含まれる勧告について討議しました。

ccNSOメンバーミーティングデーでは、ccTLDの廃棄とccTLDの委任、失効、廃棄についての決定の審査メカニズムの策定に関する[ポリシー策定プロセス](#)（PDP）について討議されました。ccNSO評議会はこの会合で、PDPの範囲の定義と改善を盛り込むべきワーキンググループ設立文書のドラフティングチームに参加する有志を募る呼びかけを開始しました。設立文書の草案は、ICANN58で討議される課題レポートに含まれる予定です。

セッション資料

ccNSOメンバー会合の[議題](#)および[セッションの概要](#)については、ccNSOのWebサイトをご覧ください。議題には、法務およびマーケティングのベストプラクティスの交換に関するトピック、およびccTLDニュースセッション中の「成熟したドメイン名市場におけるccTLDおよびccTLDによるイノベーション」のトピックが含まれます。ccNSOは、IANAの監督権限の移管の完了（ccTLDへの影響、将来予想される影響）にも焦点を当て、ICANNの説明責任に関する最新情報と次のステップについて説明し、さらにccNSO自体の説明責任と透明性について詳細に検討しました。このccNSOメンバー会合でのすべてのプレゼンテーションについては、[こちら](#)をご覧ください。

ジェネリックドメイン名支持組織（GNSO）

ICANN57の内容

ICANN57では、コミュニティ主導のグループが、新gTLDに続く手続きに関するポリシー、次世代登録ディレクトリサービス、gTLDの全権利保護メカニズムのレビューなど、GNSOに影響するトピックについて討議を推進するために、70近いセッションを企画しました。

GNSOは、国コードドメイン名支持組織（ccNSO）、政府諮問委員会（GAC）、およびICANN理事会との共同セッションを開催しました。GNSO評議会は、GNSO議長としてジェームズ・ブレイド氏を再選し、同氏は議長をさらに1年務めることになりました。またダナ・オースティン氏とヘザー・フォレスト氏が2期目の評議会副議長として選出されました。

GNSO評議会は、新gTLDオークションからの収益を分配するメカニズムの提案作成に向けたコミュニティ横断ワーキンググループの設立文書を採択しました。さらにGNSO評議会は、GNSOポリシー策定プロセスでのGAC早期エンゲージメントに関する最終ステータスレポートとGAC-GNSO協議グループからの勧告を採択し、GACへの新しいGNSOリエゾン指名しました。

GNSO評議会は、インターネットガバナンスに関するコミュニティ横断ワーキンググループ（CWG-IG）の設立文書のレビューを行いました。このグループは、ICANN以外でインターネットガバナンスプロセスへの取り組みに注力します。GNSO評議会は、CWG-IGがその設立文書についてレビューを行い、提案された変更に関してICANN58まで報告することを条件として、暫定的に設立文書を拡張しました。

次のステップ

今後数週間に渡り、GNSOポリシー策定プロセス（PDP）ワーキンググループは通常の会議を再開します。特に、治癒的権利保護メカニズムへの国際政府組織（IGO）および国際的非政府組織（INGO）のアクセスPDPワーキンググループ、ならびに国および地域名のTLDとしての使用に関するコミュニティ横断ワーキンググループ（CWG-UCTN）は、今後数か月間にわたって、コミュニティからの意見を求めるためのレポート策定に取り組みます。

GNSO評議会は、GNSO付属定款実施ドラフティングチームからの報告を検討するための動議に対する投票を行います。このチームは、IANAの監督権限の移管後におけるGNSOの役割を推進するために導入されるべきプロセスおよび手続きに関連する勧告を行うために結成されました。

セッション資料

ICANN57で実施されたGNSOセッションのレコーディングを聞くことができます。また、GNSOの作業の詳細についても確認できます。

- GNSO評議会会議 | [パート1](#)、[パート2](#)
- 合同会合：[ccNSO](#) | [GAC](#) | [ICANN理事会](#)
- 新gTLDに続く手続きに関するPDPワーキンググループ | [ワークスペース](#)、[セッション](#)
- 次世代登録ディレクトリサービスPDPワーキンググループ | [ワークスペース](#)、[セッション](#)
- 全gTLDにおける全権利保護メカニズムの審査に関するPDPワーキンググループ | [ワークスペース](#)、[セッション](#)
- 治癒的権利保護メカニズムへのIGO-INGOアクセスに関するPDPワーキンググループ | [ワークスペース](#)、[セッション](#)
- Thick WHOISの実施レビューチーム | [ワークスペース](#)、[セッション](#)
- IGO-INGO実施レビューチーム | [ワークスペース](#)、[セッション](#)
- プライバシーおよびプロキシサービス認定問題実施レビューチーム | [ワークスペース](#)、[セッション](#)
- 国および地域名のTLDとしての使用に関するコミュニティ横断ワーキンググループ | [ワークスペース](#)、[セッション](#)

At-Large/At-Large諮問委員会 (ALAC)

ICANN57の内容

ALACは、新gTLDオークションからの収益に関するコミュニティ横断ワーキンググループの設立文書を承認しました。また、グループの共同議長を選出する予定です。ALACは、インターネットガバナンスに関するコミュニティ横断ワーキンググループの設立組織として続行することも決定しました。

ALACが支持する第2回At-Largeサミット (ATLAS II) 勧告実施報告は、ICANN理事会に渡されました。これは、ATLAS II 宣言に述べられている43の勧告の実施に対する2年にわたる取り組みを締めくくるものです。

At-Largeによる検討を独立して審査するITEMSは、At-Largeコミュニティの使命、目的、および構造的有効性に関する暫定的所見をAt-Largeに提供しました。コミュニティが開始したAt-Largeコミュニティの構造に関する分析レポートも公開されました。

アウトリーチに関して、アジア、オーストラリア、および太平洋諸島地域At-Large組織 (APRALO) はAt-Large Structures (ALSes) の能力育成セッション、および展示および人脈形成向け共同イベントを成功させました。さらにAt-Largeは、At-Largeコミュニティのポリシー活動について、次世代を担う学生との活発な討議も行いました。

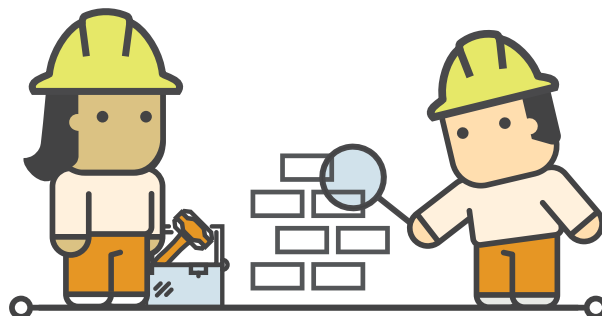
次のステップ

2016年12月初め、At-Largeコミュニティの独立レビューのレポート草案がAt-Large検討作業部会による検討のために公開される予定です。ALACは、At-Largeによる検討を補完するため、ALAC-RALO-ALS Structure分析レポートに基づきALSesの有効性についてさらに分析していきます。

各地域では、ラテンアメリカ・カリブ海地域At-Large組織 (LACRALO)、北米地域At-Large組織 (NARALO)、アフリカ地域At-Large組織 (AFRALO) が、2017年の総会 (それぞれ1月、4月、6月に開催) の準備を進めています。

セッション資料

- [ATLAS II勧告実施報告](#)
- [ALAC-RALO-ALS Structure分析レポート](#)
- [ICANN57でのAt-Largeコミュニティの議題およびプレゼンテーション資料](#)
- [ICANN57におけるALACの動議および総意による決定](#)
- [ICANN57でのAt-Largeの写真](#)



政府諮問委員会（GAC）

ICANN57の内容

ICANN57で、GACは30の全員出席セッションと6つのワーキンググループセッションを開催しました。すべてのGACセッションは公開で行われ、国連公用語6言語とポルトガル語による同時通訳が提供されました。ICANN57でネパールが新規に参加したことで、GACはメンバーとして170の政府およびオブザーバーとして35の政府間組織（IGO）で構成されるようになりました。GACリーダーの選挙が行われ、現GAC議長が発声投票により再任され、またエジプト、ペルー、中国、フランス、およびイギリスのGAC代表が副議長に任命されました。

コミュニティのエンゲージメントが二者間とコミュニティ間の両方のレベルで実施されました。GACは、ICANN理事会、国コードドメイン名支持組織（ccNSO）評議会、分野別トップレベルドメイン名支持組織（GNSO）評議会、およびAt-Large諮問委員会と会合を開きました。GACワーキンググループは、関心の高い3つのトピックに関するセッション、およびアジア太平洋地域の能力育成セッションでも主導的役割を果たしました。

全員出席セッションでは複数のトピックが取り上げられ、GACの見解が求められている登録ディレクトリサービスおよび新gTLDに続く手続きに関するGNSOポリシー策定プロセス（PDP）などについて検討されました。さらに、IGOの頭字語や赤十字社の国名、国コードおよび国名の第2レベルドメインとしての保護、および内部的な問題に関するセッションが実施されました。

GACはさらに、IANAの監督権限の移管後の新しいICANN付属定款に照らしてプロセスを開発し、今後のGACのWebサイトに関する最新情報を受けました。**公共の安全、人権および国際法、地理的名前、サービスが行き届かない地域、運用原則**、および**指名委員会との関係**に関するGACワーキンググループも、それぞれの取り組みの最新情報を提供しました。審議の重要な成果として、ICANN理事会への助言を含む**GACハイデラバード声明**が発表されました。

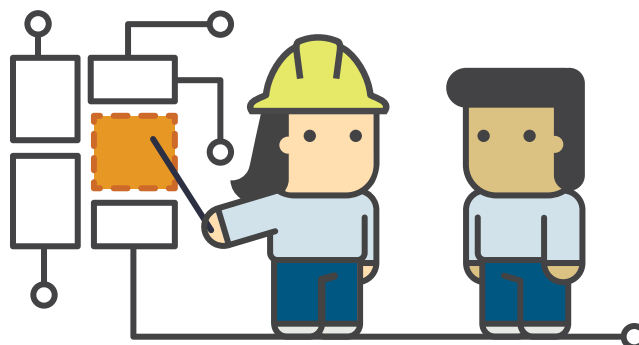
次のステップ

GACは、今後の電話会議でICANN理事会に対するハイデラバードの助言を追跡し、また早期にICANN58の準備を開始する予定です。新しいICANN付属定款に沿ったプロセスの採用、およびその他の現在のトピックについて、GAC全体とGACワーキンググループ内のそれぞれで作業が継続されます。GACは、GNSO PDPワーキンググループ、および設立組織としてコミュニティ横断ワーキンググループにも参加しました。

セッション資料

GACセッションの詳細については、**ICANN57のスケジュール**に掲載されているプレゼンテーションおよびトランスクリプトをご覧ください。GACの詳細については、**GACのWebサイト**をご覧ください。

GACでは新しいメンバーを歓迎しています。完全なメンバーシップは、政府および個別の経済圏に対して開かれています。複数国から成る政府および条約機構は、オブザーバーとしてGACに参加できます。メンバーシップの詳細と参加申請方法については、**こちら**をご覧くださいか、または**gac-staff@icann.org**にお問い合わせください。



ルートサーバシステム諮問委員会 (RSSAC)

ICANN57の内容

ICANN57では、RSSACにより3つの公開文書 (RSSAC023、RSSAC024、RSSAC025) が承認されました。

- **RSSAC023**では、RSSACは現在のルートサーバシステム、および開始時から現在までの経緯について、コミュニティに通知する役割を担います。この文書は、ルートサーバオペレータ組織と共同で作成されました。
- **RSSAC024**では、RSSACは潜在的な新規ルートオペレータの主な技術的要素を定義しています。これは、潜在的なルートサーバオペレータ指定プロセスにおける重要部分となります。
- 最後に**RSSAC025**では、RSSACはルートサーバシステムの説明責任、継続性、および発展に関する2016年10月のワークショップの成果をまとめています。

次のステップ

RSSACは、ルートサーバシステムの運用、管理、セキュリティ、および完全性に関連する事案について、ICANNコミュニティと理事会に対して助言する責任を持ちます。RSSACは、グローバルなルート名サービスの運用を担う組織の代表、およびルートゾーンサーバシステムの安定性、技術、運用面の管理に関与するパートナー組織からのリエゾンで構成されます。

2014年にRSSACは、その基本的作業を推進するために、ドメインシステムおよびルートサーバシステムの専門家から成る**幹事会**を立ち上げました。幹事会は77名のメンバー（そのうちの45%はルートサーバオペレータの業務に就いていません）で構成され、RSSAC作業に貢献している技術的な専門知識の基礎の幅を広げています。

ICANN57開催後も、RSSACは引き続きルートサーバシステムの発展に注力し、説明責任や透明性の課題などに取り組んでいきます。RSSACは、作業の基盤となる用語集、およびルートサーバシステムに関するチュートリアル情報も作成しています。ルートサーバネーミングスキーム作業部会はその取り組みを継続し、またエニーキャストインスタンスの配布に関する作業部会は定期的に会合を実施していきます。

セッション資料

RSSACは、ルートサーバシステムの発展に向けた取り組みを推進し、さまざまな内部的な問題について討議するため、ICANN57の期間中に9つの作業セッションを実施しました。RSSACは、ICANN理事会およびICANN最高技術責任者とも会合を開きました。

RSSACは、「How It Works」シリーズのチュートリアルに引き続き参加しました。ルートサーバの運用に関する2つのセッションは、**11月3日 (木)** および**11月4日 (金)** の15:15~16:45に実施されました。チュートリアルでは、最初にDNSの概要、経緯、およびルートゾーンオペレータの業務について説明が提供され、エニーキャストルーティングに関する一般的な解説など、いくつかの技術的トピックも取り上げられました。

RSSAC公開セッションは、11月6日 (日) 13:45~15:00に実施されました。このセッションでは、RSSACメンバーは現在の作業や最近の公開文書など、ICANN56以降の活動に関する最新情報を提供しました。

特に、**RSSAC幹事会**はICANN公開会議での最初の会合を11月6日 (日) 15:15~16:45に開きました。RSSAC幹事会は継続中の作業について話し合い、今後の潜在的な作業トピックについて検討しました。

セキュリティと安定性に関する諮問委員会（SSAC）

ICANN57の内容

SSACは、ICANN57でDNSセキュリティ拡張（DNSSEC）に関する2つのセッションを実施しました。最初のセッションは「DNSSEC for Everybody : 入門ガイド」です。このセッションで、SSACはDNSSECについて紹介し、DNSSECを素早く簡単に展開する方法を示しました。

2番目のセッションはDNSSECワークショップです。ここでは、次のトピックに関する17のパネルディスカッション、デモ、およびプレゼンテーションが行われました。

- アジア太平洋地域でのDNSSECの活動（インド、日本、シンガポール、ベトナムのプレゼンテーションを含む）、およびルート鍵のロールオーバー-再帰的リゾルバソフトウェアの準備に関するパネルディスカッション。
- DS自動プロビジョニング（DSAP）、WindowsでのDNSサーバ用DNSSEC、およびMicrosoft Outlook用DNSSEC-S/MIME-DANEパッケージのデモ。
- 全世界でのDNSSECの展開状況、NSEC/NSEC3の積極的使用、およびDNSSECによるセキュアメールの実現に関するプレゼンテーション。

さらに、SSACはICANN理事会と会合を開き、最近公開された[SAC084 : 国際化ドメイン名ccTLDファストトラックプロセスに関する拡張プロセス類似性評価パネルのガイドラインに対するSSACコメント](#)について要旨を説明しました。SSACは公開会議も開催して、最近および現在の活動の概要を提供し、コミュニティからの意見を求めました。最後に、SSACは非公開のプライベートセッションを1日かけて開催しました。

次のステップ

DNSSECワークショップは、この数年間に渡ってICANN会議の一環として実施され、経験豊かなメンバーと新人の両者が集って現在と未来のDNSSECの展開についてプレゼンテーションおよび討議を行う場となっています。DNSSECワークショッププログラム委員会は、まもなくICANN58でのDNSSECワークショップの計画策定に取り掛かります。SSACは、広範なトピックについてのレポート、諮問、およびコメントの策定、およびICANN58の最近の活動に関する公開プレゼンテーションの準備を継続していきます。

セッション資料

- [DNSSEC for Everybody : 入門ガイド](#)
- DNSSECワークショップ | [パート1](#)、[パート2](#)、[パート3](#)
- [SSACの公開会議](#)

